

第4号様式

指定管理業務評価表

施設名	富士見市立老人福祉センター	令和4年度	事業報告
指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	所管課	
指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日	健康福祉部 高齢者福祉課	

自己評価…指定管理者 所管評価…市(施設所管課)

個別評価項目	確認基準	自己評価	所管評価	施設所管課評価意見
1 業務の実施体制	人員体制	事業計画書どおりの人員を配置している。	A	A
		必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A
		責任者(代理する者)が施設に常駐している。	A	A
	職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用許可や施設案内等を迅速かつ適正に行っている。	A	A
		名札を着用し、業務遂行にふさわしい服装となっている。	A	A
		利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A
		言葉遣い、態度などの接遇は適切である。	A	A
		事業計画に即し、職員研修を計画的に実施している。	A	A
	法令等遵守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備され、個人情報の漏洩、滅失等の対策を講じている。基本協定書の個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A
情報公開	情報公開に関する規程が整備され、適切に対応できる。	A	A	
報告書の提出	定期報告書、事業報告書を期限内に提出している。	A	A	
安全、緊急対策	事故・災害等緊急時のマニュアルがあり、訓練が実施され、連絡体制や対応体制ができています。また、事故等があった場合、適切な対応が行われ、報告が市にされている。	A	A	
	事故防止及び安全確保(避難通路の確保等)のために施設や設備の目視や点検を行い、常に施設や設備の状況を把握している。	A	A	
2 業務の内容・水準	維持管理	条例等の規定に基づき開館日、開館時間を遵守している。	A	A
		外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	A	A
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A
		仕様書等に従い、施設・設備の保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設を利用できている。	A	A
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理し、利用者が快適に利用できているか。	A	A
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
	事業運営	事業計画書に即し、自主事業を実施している。	A	A
		事業内容が利用者サービスの向上に寄与している。	A	A
		地域や他施設との連携に努めている。	A	A
	利用者アンケート	利用者の要望等の把握方法は適切である。	A	A
要望等の対応策は適切である		A	A	
利用状況	利用者数、稼働率等は、適正な水準にある。	A	A	
管理記録	業務日誌を適切に整備、保管している。	A	A	
	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	A	
環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A	
3 収支等	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は適正である。	A	A
	経費縮減	経費が縮減され、又はその縮減に向けた努力を行っている。	A	A
総合評価		A	A	
成果・課題等	(自己評価) 利用者と共に作る安心安全で明るく楽しい居場所「老人福祉センター」を目指し運営しました。今年度は4月から介護予防・健康増進事業、相談事業、レクリエーション事業等の自主事業を実施しました。また、利用者の「ふらっと立ち寄り楽しめる場所がほしい」という要望から、ふらっとルームを開設しました。空いている部屋の有効活用と利用者同士の親睦を図る目的で、現在、裁縫や編み物などを中心に和やかな雰囲気の中で、和気あいあいと行っています。利用者からとても好評で、玄関に心のこもった作品の数々が飾られています。新型コロナウイルス感染症防止のため、入館時の検温機や抗原検査キットを備えるなど、安全対策にも努めました。更に安全運転管理者講習会を受講し、職場での安全管理者としての資格を取得し、日々の業務に努めています。当法人による保険会社の方を講師に、安全運転講習会を実施し、専門的な視点から送迎に対する運転意識を高めると共に、ドライブレコーダーによる事例を基に研修を受講しました。さらに、法人によるアンガーマネジメント研修を受講し、アンガーマネジメント的組織作りとグループ討議を取り入れました。今後も安全安心な老人福祉センターの運営に努めます。			
	(所管評価) 昨年度に続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3密等を避けるなど制限がある中で、社会情勢等をみながら自主事業の実施に努めた。自主事業においても外部講師に頼ることなく各種指導・管理者養成研修等にも参加し、指導者の資格を取得したり新たな事業の模索を行った。また、利用者からの要望に耳を傾け、指定管理者からの意見・提案で「ふらっとルーム」が開設されたことは、これまでの指定管理者として初めての取り組みであり、評価するものである。引き続き、今後も新型コロナウイルス感染症防止の徹底及び利用者への接遇に注意し、利用者の意見に耳を傾け、更なる指定管理者からの意見・提案を発信して、利用者にとって和みの場となる居場所づくり・施設づくりに取り組むことを望む。			

※評価区分

①	個別評価	AA(優良) = 協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理運営内容である。
		A(良好) = 協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容である。
↓		B(問題含) = 協定書、仕様書等を遵守しているが、管理運営内容の一部に問題がある。
		C(要改善) = 協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な管理運営内容である。
②	総合評価	AA(優良) = 個別評価がすべてA以上であり、かつAAが過半数である。
		A(良好) = 個別評価がすべてA以上である。(上記以外)
		B(問題含) = 個別評価がすべてB以上であり、Bの割合が1割未満である。
		C(要改善) = 上記以外